



あさくら

# 市議会だより

令和8年

2.1

No.80

P2 定例会概要

P4 常任委員会

P6 一般質問

P14 行政視察報告



12月定例会（12月4日～19日）

12月定例会では、22件の議案を審議、可決しました。  
旧庁舎解体工事のための補正予算等を可決しました。  
審議を行った議案の概要を紹介します。

## 旧庁舎跡地解体工事について

市役所本庁舎の移転に伴い、旧庁舎を解体するための工事を実施します。期間は令和7年度から令和8年度まで、限度額は6億5千万円です。解体後は、防災備蓄倉庫を整備し、庁舎跡地の有効活用を図ります。

### 物価高対応子育て応援手当を給付

物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、児童手当の支給対象児童を養育する父母等に対し、こども一人当たり一律2万円の「物価高対応子育て応援手当」を給付します。



子育て世帯を応援し、健やかな成長を支える

### 既存体育施設の長寿命化へ

既存体育施設の長寿命化に向けて、甘木体育センター・甘木武道館の耐震診断を実施し、安全確保と今後の施設活用を検討します。

▶ 委員会審査 P. 4 参照



耐震診断を行う甘木体育センター

## 意見書

左記の意見書案を全会一致で可決し、関係機関に意見書を提出しました。

外国法人等による土地の取得及び利用を制限するための法整備等を求める意見書

### 要旨 ※一部のみ記載

近年、外国法人や個人による土地取得が進み、我が国の主権を脅かす事例が確認されており、安全保障上の重大な問題が懸念される。国土の安全保障・適正利用のため、外国法人等による土地取得・利用を制限する措置を求める。

1. 重要土地等調査法は重要施設、周辺や国境離島に限定され、住宅地や農地が対象外となっているため、安全保障の観点から対象区域を拡大すること。

2. 国土保全のため、外国法人による土地取得に対し、GATS加盟国との協議による相互主義制度の創設や外国人土地法改正など、制度整備を早急に行うこと。

### 提出者

堀尾 俊浩、半田 雄三  
浅尾 静二、中島 秀樹

1 2 月定例会で審議した議案の結果です		◎…全会一致 ○…賛成多数 ※…討論あり
議案番号	議案の件名	
総務文教常任委員会		
第93号議案	朝倉市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎可決
第94号議案	朝倉市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎可決
第106号議案	久留米市外三市町高等学校組合規約の変更に係る協議について	◎可決
第107号議案	久留米市外三市町高等学校組合の解散に伴う財産処分に関する協議について	◎可決
第110号議案	朝倉市議会議員の議員報酬等に関する条例及び朝倉市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎可決
第111号議案	朝倉市職員の給与に関する条例及び朝倉市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	◎可決
環境民生常任委員会		
第92号議案	令和7年度朝倉市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	◎可決
第95号議案	朝倉市税条例等の一部を改正する条例の制定について	◎可決
第96号議案	朝倉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	◎可決
第97号議案	朝倉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	◎可決
第98号議案	朝倉市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	◎可決
第109号議案	令和7年度朝倉市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	◎可決
建設経済常任委員会		
第99号議案	工事請負契約の変更について	◎可決
第100号議案	工事請負契約の締結について（農地・農業用施設（畑・道路・水路））	◎可決
第101号議案	工事請負契約の締結について（農業用施設（ため池））	◎可決
第102号議案	工事請負契約の締結について（菱野地区土砂置場）	◎可決
第103号議案	市道路線の廃止について	◎可決
第104号議案	市道路線の認定について	◎可決
第105号議案	指定管理者の指定について	◎可決
その他		
第91号議案	令和7年度朝倉市一般会計補正予算（第3号）について	◎可決
第108号議案	令和7年度朝倉市一般会計補正予算（第4号）について	◎可決
第112号議案	令和7年度朝倉市一般会計補正予算（第5号）について	◎可決
意見書案第3号	外国法人等による土地の取得及び利用を制限するための法整備等を求める意見書の提出について	◎可決
意見書案第4号	SNS等インターネット上の偽・誤情報に対する規制の強化及び誹謗中傷等の抑止と被害者救済に向けた対応の強化を求める意見書の提出について	◎可決

提出者

浅尾 静二、堀尾 俊浩  
半田 雄三、中島 秀樹

3.

誹謗中傷は許されないこと  
を前提に、インターネット上の誹謗中傷の抑止と被害者救済に向けた対応の強化を求める意見書

2.

誹謗中傷被害者を迅速に救済するため、発信者情報開示などの期間を大幅に短縮するなどの被害者の負担軽減を図ることを目指すこと。

1.

SNS事業者等による削除等の自主的取組を促進し、ネットモラルの醸成を図ることを目指すこと。また、情報流通プラットフォーム事業者等に対する法的義務付けの対象者にも、対象者啓発を行うこと。

要旨

※一部のみ記載

SNS等で匿名発信による誹謗中傷や差別的言動が深刻化し、被害者の生活が脅かされている。偽・誤情報による被害防止のため規制を強化し、誹謗中傷被害の早期救済に向けた実効性ある仕組みを速やかに整備すること。



常任委員会では、議案の詳細な審査と本会議への審査結果報告を行います。ここではその一部を紹介します。

総務文教常任委員会

## 甘木地域体育施設の耐震診断を実施

✓ 甘木体育センターと甘木武道館の耐震診断を実施

Q それぞれの施設の建設時期は。

A 甘木体育センターが昭和46年、甘木武道館が昭和48年に建設。

Q 耐震診断の結果を踏まえてどのような対応をするのか。

A 施設の更新に係る基礎資料として活用をしていく。



甘木武道館

✓ 久留米市外三市町高等学校組合を解散（三井中央高等学校の閉校に伴い）

Q 関係市町での議決案件は。

A 令和7年度末をもって、三井中央高等学校が閉校する。それに伴い、久留米市、小郡市、大刀洗町、朝倉市で組織する久留

米市外三市町高等学校組合を解散するにあたり、組合財産の処分及び事務の承継について、それぞれの自治体の議会で議決を求めるもの。

Q 解散にあたって、土地・建物等の財産に係る新たな負担等は。

A 精算金（令和7年度収支決算余剰金）については、令和7年度収支決算後、組合規約で規定する配分割合に基づき各自治体へ配分する。また、土地・建物等を含めた財産については久留米市に帰属することで調整が整っている。

✓ 地域支え合いセンター窓口を終了

Q センター終了後の考え方は。

A センターは平成29年九州北部豪雨による被災者の生活再建支援のために設置。対象世帯がすべて再建したため、センター窓口を終了するもの。相談は引き続き、総合政策課復興推進係で受け付ける。

環境民生常任委員会

## こども誰でも通園制度

✓ 令和8年度より「こども誰でも通園制度」（通称）が本格的に始まり。内容は、月一定時間での利用可能枠の中で、就労要件を問わず、時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付が創設されています。

Q 利用できる施設は。

A 保育所、認定こども園、幼稚園等基準を満たしていればいずれの施設も利用できる。

Q 対象となる児童は。

A 0歳6か月から満3歳未満の未就園児が対象となる。

Q 月の利用時間は。

A 児童一人あたり月10時間が上限となる。

Q 利用料は。

A 国の補助事業で、補助率は未定だが、利用料は、1時間あたり、300円程度を徴収することができるとなっている。

Q 補助金の上乗せは考えていないのか。

A 実施状況をもとに検討していく。

✓ 督促手数料の廃止に伴い、市税条例等の一部を改正する条例が制定されます。

Q 廃止する理由は。

A 地方統一システムの導入により、当初に発行した納付書では、督促手数料を追加して収納することができないため、督促手数料の納付書を別途発行していたが、その発送費用に当該手数料以上の費用を要するため、および、徴収管理事務を軽減するため。

Q 実施時期は。

A 令和8年4月から実施予定としている。



「全てのこどもと子育て世帯を応援します！」



建設経済常任委員会

## 災害復旧工事を進めるために

林道中村白木線4号箇所復旧工事について

**Q** なぜ設計が一部変更になったのか。

**A** 理由の一つとして、現地調査の結果、当初計画の施工範囲外で崩壊を確認。放置すれば拡大崩壊する恐れがあることから施工範囲を増工する必要が生じたため。

菱野地区土砂置場整備工事について

**Q** 盛土造成の安全性は。

**A** 土砂置場の近隣4つのため池の堆積土砂を運び込み、造成していくが盛土規制法に則った形で安全に造成していく。

**Q** なぜ土砂置場を整備することとは必要なのか。

**A** 市内または近隣の土砂置場には土砂を受け入れる余裕がないこと。また、将来の災害に備えるため土砂置場の整備は必要である。

市道路線の認定について

「後第6号線」・「後第7号線」の2路線は、朝倉市土地開発指導要綱にもとづく開発行為により整備された道路施設として移譲を受けたもの。

また、「角ヶ本線」他8路線の廃止と「庄屋の下・日森園線」他5路線の認定のため詳細な説明を受けた後、現地調査を行い、延長等が認定基準に合致することを確認した。



現地調査の様子

## 議場見学を受け入れました

令和7年11月21日、甘木幼稚園の園児が議場見学に訪れました。

勤労感謝の日にちなんだ職場見学として市役所を訪れ、市役所や市議会の仕事について学んでもらいました。

当日は、議会事務局職員が議会の役割や仕事内容について説明を行いました。職員の質問に対し、園児たちは元気よく答える姿が見られ、和やかな雰囲気の中で見学が行われました。



▲真剣にお話を聞く園児たち



▲初めての議場に緊張した表情を見せながら、見学に臨む園児たち



一般質問者14人

# 庁舎移転の大きな節目 豊かな市の発展のために問う

傍聴者122人



旧甘木市役所から通算して53年の歴史に幕を閉じる  
旧庁舎で最後の定例会が行われました

一般質問は、市の課題や方針等について、議員自身の意見も交えながら市に考えを聞くものです。

スマホやパソコンから



朝倉市議会 議会中継

検索

議会中継のページでは、生中継のほか、見たい会議や議員名を選んで録画映像を視聴できます。

## Q 学校教員の長時間勤務の改善を

### A 実効性のある計画を策定する



動画はこちら

**Q** 小・中学校教員の長時間勤務改善のための取り組み状況を問う。

**A** ①出退勤管理の徹底、校務支援システムを使った情報共有によりパーパス化、会議のスリム化を推進している。

②勤務を制限することによる教員の意識改革③教員業務支援員の配置による事務的作業の負担軽減④部活動等への外部指導者の積極的な活用に取り組んでいる。また、教員のメンタルヘルス

健康管理も心がけている。

**Q** 今後の長時間勤務を減らす改善策について尋ねる。

**A** 働き方改革の一環として行われた法改正により、実情に応じた実効性のある計画を策定する。学校長の役割も重要であり、学校と教育委員会で課題を共有し、適切な指導を行っていく。

**Q** 新庁舎整備の目的と成果の検証について尋ねる。

**A** 理念・基本方針として、市民の安全を守る、災害時に行政機能を維持できる防災拠点確保すること、行政機能を集約して効率化を図り、市民

サービスの質を高めること、そして、市民交流や地域連携を促進し、まちづくりの拠点となることを掲げている。新庁舎建設で見込まれる最大の成果は市民にとって安全安心、快適な行政サービスの提供が可能となることであると考えている。今後も、市民の声に耳を傾け、市民サービスの向上を図りながら検証していく。



新庁舎、1月5日から業務開始

## 質問項目

① 小・中学校教員の働き方改革について

② 新庁舎整備の目的と成果の検証について



おおば きみ子 議員

本市の快適な暮らし対策を問う



動画はこちら



とくなが ひでとし 議員  
徳永 秀俊

質問項目

- ① 骨粗しょう症予防
  - ② 認知症事故対策
  - ③ 賃貸住宅入居支援
  - ④ 終活支援
- ※全6項目の内一部を掲載

**Q** 骨粗しょう症の早期発見と予防が健康寿命を延ばし、医療費の抑制に直結すると思うが市の取り組みは。

**A** 市の住民健診では、骨粗しょう症検診は行っていないが、朝倉診療所では半日人間ドッグのオプション検診として実施しており、対策が重要であると認識している。市ではステップ運動やスロージョギング等の運動教室を市内22か所で開催し、骨折を予防する体作りを行っている。

**Q** 今後、骨粗しょう症の50歳健診を取り入れられないか。  
**A** 50歳前後の女性をはじめとする中高年期が

らの骨粗しょう症対策は重要であると認識している。国、県の動向や他市町村の実施状況を調査し、現在行っている事業と合わせて検討する。



予防が大事

**Q** 認知症事故対策の保険を本市でも採用できないか。

**A** 市独自の保険採用は考えていないが、相談体制の一層の充実等を図っていく。

**Q** 空き家対策ガイドブックが今年度できる予定であるが、十分な効果を得るための対策を問う。

**A** ガイドブックには空き家の問題点や管理方法、売買や賃貸をする場合の手順、空き家の解体に伴う補助金等の紹介を掲載するほか、相談窓口の掲載も予定している。配布については、庁内関係部署のみならず、各コミュニティ協議会や地域包括支援センター、社会福祉協議会等に配布を予定している。今後は、空き家対策の一環として出張空き家相談会等の開催も検討していく。

馬田の河川整備の進捗状況は

**A** 遅れているが、強く申し入れする



動画はこちら



か げ て つ や  
鹿毛 哲也 議員

質問項目

- ① 小石原川の災害対策について
- ② 市長タウンミーティングの実施について
- ③ 災害対策や避難所について
- ④ 人口減少対策について

**Q** 市は、旧堰撤去を進めるためにどのような動きをしているのか。

**A** つなぎ込み水路工事が遅れていることは事実であり、沿線住民の河川氾濫の危惧が高まっていることは十分承知をしている。福岡県朝倉農林事務所に早急な井堰撤去を福岡県朝倉県土整備事務所には、部分施工となっても河床掘削を進めてもらうよう強く申し入れを行う。

**Q** 市内3つのダムの洪水調整の観点から見た用途の違いは。

**A** 江川ダムについては、農業用水、

水道用水、工業用水を開発。利水専用ダムとなり、洪水調節機能はない。寺内ダムについては、洪水調節機能、水道用水、農業用水、筑後川瀬ノ下地点の流況改善を目的としている。小石原川ダムについては、寺内ダムと同様洪水調節機能がある。加えて、水道用水、筑後川及び佐田川、小石原川の流況の改善、さらに、異常渇水時に河川の流況改善と国民生活及び産業活動の継続を支援する渇水対策容量機能を持つ。

**Q** 宮崎県の都市は、全国トップクラスの移住応援給付金を支給しているが朝倉市もできないか。

**A** 移住支援金だけでなく、複数の施策を組み合わせる市の魅力をPRすること、総合的に展開をし、移住促進に繋がっていくことが重要であると考えている。



総合的に人口増に向けて政策の展開をしよう



## Q 公立保育所再編に向けての考え方は

### A 国の保育政策も踏まえながら質の高い保育を提供していく



動画はこちら



しい せいじ 議員  
石井 清治

#### 質問項目

- ① 「朝倉市公立保育所再編基本方針」について
- ② 有害鳥獣被害対策について
- ③ 民間空き地の雑草対策について

## Q 市内保育所の入所児童数はどのように推移しているか。

A 5年前との比較で、公立が115人減少28.26%減。私立が125人減少13.08%減。認定こども園が10人減少10.53%減。全体で250人減少17.15%減となっており、児童数は減少傾向にある。

## Q 児童数の減少を踏まえ、公立保育所の再編に向けての基本的な考え方は。

A 国の保育政策も踏まえ、質の高い保育の提供や専門性の発揮、地域の子育て支援の拠点としての機能等、公立保育所に求められる役割が果たせるよう、新たに

な再編基本方針として整理をしていく。

## Q 野生鳥獣対策の侵入防止柵の申込み後、最長2年間も設置まで待っている状況の解消はできないか。

A ワイヤーマッシュ柵の申込みが増えており、国の交付金を活用した事業のため、交付金の増額に向けて国県に要望をしていくことと、ふるさと応援寄付金の活用も今後検討していく。



ワイヤーマッシュ柵が設置された樹園地

## Q 民間空き地の雑草に対する苦情への対策は。

A 市民からの苦情は年々増加している。朝倉市環境美化推進条例に基づき、現地を確認し、所有者等を調査し管理をしてもらうための通知をしているが宛所不明で返送されるケースもあり苦慮している。

関係法令に基づき可能な範囲内で情報収集を行い、現住所を確認の上、当該所有者へ現状を知らせる通知や注意喚起に努めていく。

## 外資系企業によるマンション計画



動画はこちら



きたがわ きよみ  
北川 清文 議員

#### 質問項目

- ① 外資系企業によるマンション建築計画について

## Q 地元への概要説明及び資料提供は、何処がされたのか。

A 地元に対する概要説明および、資料提供は全て建設事業者が行った。

## Q 他地区から事業概要説明会の開催要望が出た時の市の対応は。

A 地域に対する説明会の開催については、建設事業者が判断するものと考えているが、説明会開催の要望があれば、その旨を建設事業者側に申し入れる。

## Q 建設計画に関する開発許可や建築確認の申請状況について、市は福岡県に確認したのか。

A 現時点では、開発許可申請も建築確認申請も出されていないことを確認している。

## Q 建設計画を阻止できるのか。また、今後の見通しは。

A 都市計画法、建築基準法に基づき、関係書類や手続きに違反がなく、適合すれば法的に建築は可能となるが、住民の意見、意思等も事業実施に大きな影響があると考えている。建設予定地の所有者が、土地開発に協力する話を白紙に戻す発言をされ、説明会を求める署名等心配されている方々が大半いる中で、今後も総力を挙げて朝倉市を守る取り組みを行っていく。



安心できるまちづくりを目指して



## 次期過疎地域持続的発展計画は



動画はこちら



いいだ さなえ 議員  
飯田 早苗

### 質問項目

- ① 朝倉市過疎地域持続的発展と過疎債の活用について
- ② 不登校児童生徒支援事業（サポートスポット）について

**Q** 市の人口ビジョンでは、20年後は人口半減を予測。地域社会や行政サービスに及ぼす影響は。また将来を見据えた早期の対策が必要では。

**A** 自治会等の共同活動の困難化や生活機能の低下がさらに進むと認識。行政コスト増加により各種行政サービスの提供が困難となる。DX推進と地域の交流により、安心して暮らせる地域づくりを進める。今後はハード面だけではなく、ソフト面の支援も必要と考える。

**Q** 5年前実施されたパブリックコメントは、60件中35件が「参考」。

市民の声が政策に反映されていないのでは。

**A** 「参考」は計画修正対象外の提案で、関係部署等で情報を共有し検討している。

**Q** 過疎債の「弾力的運用」は、過疎地域への重点投資を弱めるのでは。

**A** 過疎法の趣旨を踏まえ事業計画に位置づけて活用したいと考えている。



杷木穂坂地区の  
生き生きサロンでの勉強会

**Q** 県事業として本年度より創設されたサポートスポットを、不登校支援にどう活かすのか。

**A** 行き場のない不登校児童生徒の居場所として有効。課題整理をし、他自治体を参考に検討する。

## 朝倉市人口動態について



動画はこちら



はんだ ゆうぞう 議員  
半田 雄三

### 質問項目

- ① 朝倉市人口動態について
- ② 新規事業と廃止事業について
- ③ 職員人事について
- ④ 燃料費高騰対策について
- ⑤ 今後の市政運営について

**Q** 平成26年消滅可能性都市に指定された朝倉市が、令和6年レポートではそこから脱却したと発表された。これをどのように受け止めているか。

**A** 総合戦略を策定し、様々な事業を実施してきた複合的な効果により脱却したものと考ええる。

**Q** 人口増減には自然増減と社会増減があるが、社会増減がプラスに転じている。また、昼夜間比率は108%である。現状を正しく理解し、より効率的な政策を展開すべきではないか。

**A** これまでの取り組みとあわせ、より効果的な移住支援策を考えていきたい。

**Q** 入庁後10年以内で相当数の職員が退職している。激しい競争を突破し職員になったにもかかわらず、正当な評価を受けられずに退職した者もいるのではないかと考えられる。頑張った職員が正當に評価され、報われるよう人事評価システムの在り方を改善すべきではないか。

**A** 職員団体との協議を進め、制度の公平性や透明性を確保しつつ、職員が納得できる形での仕組みづくりを進めていく。



公正な評価で、職員の意欲を高める組織へ

## 外国人向けマンシヨン計画について



動画はこちら



しばやま きょうこ 議員  
柴山 恭子

### 質問項目

- ① 情報共有について
- ② 一般質問と答弁について
- ③ 美容を活かした地域活性化について

**Q** 住民の信頼を高め、行政の透明性を確保するため、情報の全てを開示し、計画について正確な報告をお願いする。

**A** 建設計画予定地を含むゴルフ場の土地を所有する企業、ゴルフ場を運営する企業、建設事業者は別企業であり、令和6年5月18日に建設事業者が地元へ概要説明を行った。同月30日、地元から井戸水使用への反対、外国企業への不安、学校問題、自治区分離等の意見が出された。福岡県会見後の令和7年10月9日には建設事業者が自社のホームページでマンシヨン計画についてのコメントを出した。11月7日西日本新聞に建設予定地を

所有する企業のオーナーが土地開発に協力する話を白紙に戻すと発言されたことが書かれた。11月27日には建設事業者による住民説明会の開催を求める2,395名の署名が市に提出され、同月に2回市内で計画中止を訴えるデモも行われている。法的には開発行為と建築確認のいずれも関係書類や手続きに違反がなく、適合すれば建築可能となる。

井戸水使用については地元からの反対がある。今後も地元の意向を強く伝えていく。また、現在柿原地区で施工中の下水道工事は計画的な工事であり、マンシヨン計画地とは無関係である。

また、教育インフラについては、マンシヨン建設後の児童入学者の想定が困難なため、現時点での対策は難しい。

**Q** 住民の意思を表明できる環境を整えていくべき。

**A** 建設事業者に住民説明会の開催を伝えており、開催の可否について随時確認を行っていく。



地域の声を聞き、安心できるまちづくりを

## Q 庄屋町交差点渋滞による交通課題

### A 生活道路の安全対策を協議する



動画はこちら



あさ おせい 議員  
浅尾 静二

### 質問項目

- ① 甘木地区における都市機能の課題と市の対応について
- ② 米沢市・高鍋町とのトライアングル姉妹都市構想の実現性について

**Q** 老朽化が進む新天街において、防災・防犯対策の強化とまちづくりの観点から土地の利活用を促進するために関係権利者や地域住民が情報を共有し、意見交換できる協議の場を支援する考えはないか。

**A** 昭和30年代建設の木造建物が密集し延焼の危険が高い。まずは、地権者、地域住民等が自ら課題を共有し合意形成を図ることが持続可能なまちづくりにつながると考える。また、まちの魅力を高めるため、空き地や空き店舗の利活用について所有者の意向を確認しながら、まちづくりに活用できる可能性を考える。

**Q** 新庁舎開庁に伴い交通量増加が見込まれる中、庄屋町交差点の歩車分離信号の渋滞回避による生活道路への流入が懸念される。安全対策の強化を望む。

**A** 安全対策の取り組みについては、グリーンベルトの路面標示やゾーン30の設置など渋滞対策も含めて地元、関係各所、警察署と協議する。



生活道路の安全を守るゾーン30の取り組み

**Q** 全国藩校サミット朝倉大会の成果を踏まえ、トライアングル姉妹都市構想の見通しを伺う。

**A** 米沢市、高鍋町と行政・民間双方で交流が深まり、歴史・文化的つながりが再認識された。今後は高鍋町長とも連携し、トライアングル姉妹都市構想を進める。



# 戦争の記憶を次世代に語り継ぐ



動画はこちら



くまもと まさひろ  
熊本 正博 議員

## 質問項目

- ① 小石原川の河川整備について
- ② 地方創生について
- ③ 戦後80年の節目について

**Q** 小石原川の河川整備が進んでいないと認識している。その原因は、繋ぎ込み水路事業について事業同意が得られず、井堰撤去が進まないこと等にある。市の認識を伺いたい。

**A** 河川整備が計画的に進められず、洪水氾濫への危険性について強い危機感を持っている。

**Q** 今後のふるさと納税の制度の方向性として市はどのように考えるか。

**A** 返礼品に関しては、アイデアがポイントになる。幅広いニーズに応える新たな返礼品の研究を継続すると共に、たくさんの方に朝倉市を知ってもらい応援していただきたい。

**Q** 学校では、戦争について学ぶ機会はあるのか。

**A** 戦争の悲惨さや平和の尊さについて考える授業が行われている。

**Q** 戦争の記憶を次世代へ語り継ぐことについて市はどう考えるか。

**A** 戦争の記憶の風化が懸念されている。戦争は決して二度とおこしてはならない。今の平和がいかに尊いものであるのかを後世に伝えていくことは極めて重要である。

**Q** 戦没者追悼式に多くの中学生に参加して欲しい。

**A** 来年度の戦没者追悼式に次世代への平和継承を更に進めていくため中学生の参加を継続、可能な範囲で拡充していきたいと考えている。今後も意義ある式典となるよう取り組んでいきたい。



平和への願いを込めて

# 外資系マンション計画

## 朝倉市への影響を問う



動画はこちら



わたなべ つよし  
渡辺 毅 議員

## 質問項目

- ① 外資系企業によるマンション建設計画

うなるのか。

**A** 供給は足りると思われる。計画地までの水道管の整備工事は、計画地への整備計画がないことから、事業者負担になるものと思われる。

**Q** 仮定の話として当初の予定通り計画が進み、100人が小学校に、60人が中学校に通うとすると、地元公立学校での受け入れは可能なのか。

**A** 立石小学校は若干厳しいが、甘木中学校は受け入れ可能であると思われる。

**Q** 市民への正確な説明の場と、PTA・校長会、水利関係者等の検討会の設置が必要ではないか。

**A** 協議会をつくる考えは今のところない。然るべき時に判断したい。

**A** 鳥屋山自然環境保全地域が福岡県により指定されている。建設予定地については再度確認したい。埋蔵文化財については、計画に照らし合わせて適正な処理を行っていく。

**Q** 当初の6棟の計画で建設が進み、上水を引く場合は供給量は足りるのか。また、工事の費用負担はどの

水ひかる 朝倉



水と緑を未来に残そう

## Q インフレによる財政の見通しは

### A 歳出増への時間差を注視したい



動画はこちら



なかしま ひで き 議員  
中島 秀樹

#### 質問項目

- ① 財政について
- ② 朝倉市が発展するためには何をしたらいいのか

**Q** 経常収支比率は、人件費などの経常的な支出を地方税など経常的な収入でどれだけ賄っているかを示す割合である。それが93.5%は高い。財政の余裕がなく、政策的な投資ができない。大丈夫か。

**A** 高齢化による社会保障費の増加、老朽化施設、災害対応に伴う維持保守費等の増加または行政サービスニーズの高度化、多様化といった構造的な要因が重なり合い、近年上昇傾向である。

**Q** 今後、インフレにより財政は大きな影響を受けるのではないか。

**A** 歳出が膨らみ、歳入が追いつかない状況になる。この時間差に留意した

い。また、住民税などの伸びや地方交付税に一定の算入が見込まれる。

**Q** 歳入を増やす計画書はあるのか。

**A** 財政の見通しを作成した。個人市民税と固定資産税は微増である。

**Q** 一時的な財源不足ではなく、構造的な歳入減歳出増により、基金の取崩しが起こるのではないか。この可否や判断基準を示して欲しい。

**A** 財政調整基金が主と考えるが、国・県補助金の積極活用など財源確保に取り組み、収支を整えた上で、災害復旧などに基金を活用する。

**Q** 財政調整基金の適正水準は。

**A** 標準財政規模の2〜3割、過去の災害を踏まえ40億円と考える。

**Q** 行政の情報は市民のものである。情報のキャッチボールが必要だ。

**A** 広報誌などで毎年公開している。



行政情報は市民のもの

## 朝倉市の地震災害対策は万全か



動画はこちら



ひ の やす のぶ 議員  
日野 泰信

#### 質問項目

- ① 地震防災対策について
- ② 有害鳥獣対策について
- ③ 梅ヶ谷藤太郎について

**Q** 福岡県より10月末に地震に関する防災アセスメントの調査報告が発表されたが、朝倉市の内容はどうかだったのか。

**A** 地震が発生した場合の最大の被害を想定した結果、前回の平成23年の調査時と比べて、西山断層帯では最大震度7、全壊全焼の棟数が3500棟（800棟増）半壊が4900棟（3400棟増）死者200人（増減なし）負傷者1100人（1200人減）避難者9700人（6400人増）となっている。

**Q** 今後の対策は。

**A** 西山断層帯は避難者数が大幅に増加しているため、水・食料を主体に備蓄数量の見直しを進める。

**Q** 避難生活長期化に備えた対策は。

**A** 大地震の場合、避難者も増加するため学校体育館も避難所になることが考えられる。できる限り良好な避難生活環境を整えることは災害関連死を防ぐことにつながる。最善の対応ができるよう体制を強化していく。



防災アプリまもるくん  
で防災意識を高めよう

**Q** 市は鳥獣処理施設などの建設についてどのように考えているのか。

**A** 市が単独で鳥獣処理加工施設を建設し、運営するのは財政的に厳しい。まずは民間事業者による国庫補助事業を活用しての施設設置を期待したい。

**Q** 梅ヶ谷藤太郎の功績をどのように後世に残していくのか。

**A** 来年、秋月博物館で秋月の乱特別展を計画している。その中で梅ヶ谷藤太郎も紹介する。ほかにも梅ヶ谷顕彰会や関係者の方々と共に考えていく。



## Q 藩校サミット後の取り組みは

A 他自治体との交流をさらに深め、知名度向上等につなげる



動画はこちら



ほり おとしひろ 堀尾 俊浩 議員

### 質問項目

- ① 交流人口を増やすために
- ② 保護司会活動に自治体の協力を
- ③ 中山間地区の環境維持について

**Q** 現在、朝倉保護区では46名の保護司が活動している。また改正保護法が参議院本会議で全会一致で可決された。犯罪者の更生保護に正面から取り組んでいる保護司会に市はどう協力していくのか。

**A** 今後保護司会との協議、要望事項等を確認しながら支援していく。

**Q** 中山間地域の環境維持については、住民だけでは限界があると思う。

**A** 地域の負担軽減を考える必要がある。他自治体の取り組みも含めて調査研究し、関係部署とも話していく。

**Q** 秋月関係の事業が11月2日の全国藩校サミットで一段落した。多くの方の協力で成功に終わった。しかし、これからが大事である。

**A** 若い世代の人たちが熱心に働く姿を見て、朝倉市が活性化していく未来を見ることができた。これらの成果を一過性のものとはせず次につなげていきたい。

**Q** 秋月への観光客を増やしていくためにも電線等の地中化や季節や時期に応じて杉の馬場を歩行者天国にすることはできないか。

**A** 無電柱化は景観向上や災害に強いまちづくりに貢献すると思われるが、高コストや工事期間の長期化の問題等もある。また交通導線の見直しは非常に難しいが、地元とも協議をしていく。



地域の力で成功した  
秋月関係事業  
次のステージへ

## 新しい議場で議会を傍聴してみませんか



▲議場



▲傍聴席



新庁舎議場の傍聴席は一般席35席、報道関係者席4席で、会議中の入退場は自由です。市役所本庁舎5階へお越しください。

本会議・予算・決算特別委員会はどなたでも自由に傍聴できます



議場の会議の映像はインターネットでもご覧いただけます



## 行政視察に行ってきました

## 総務文教常任委員会

【北海道北見市】  
書かないワンストップ  
窓口について

書かないワンストップ窓口は来庁者の利便性向上と職員の業務効率化を同時に実現する先進的な行政サービスです。北見市では、転入・転出、出生、死亡などの手続きについて、来庁者は申請書類を記入せず、職員がヒアリングし端末へ入力しながら手続きを進めます。

来庁者は記入の負担や待ち時間が軽減され、職員は情報内部処理の迅速化や業務の平準化が図られています。

また、窓口業務を担うシステムを地元企業と共同で開発をしています。業務に必要な情報を整理してデータベース化させ、窓口手続きの一元化を行いました。この窓口支援システムは全国の自治体で導入が進み、北見市の財源の一部となっています。

このほか、2か所を視察しました

【北海道網走市】国際理解体験及び多文化共生推進事業について  
【北海道安平町】子どもの主体的な行動を促す挑戦学習「あびら教育プラン」について

教育プラン」について

## 委員の考え、気づき

北見市では、職員による窓口利用体験調査で課題を洗い出し、窓口案内表示の変更や事務処理動線の見直し、申請書様式の標準化などを実施。職員が自分たちでできることから改善し、書かないワンストップ窓口の取り組みを進めていました。

朝倉市では、現在、転入・転出など住所異動やお悔みの手続きの際、職員が聞き取りながら申請書を作成。来庁者の負担軽減に取り組んでいます。



北海道北見市

## 環境民生常任委員会

【茨城県つくばみらい市】  
脱炭素による持続可能な  
まちづくりに関する包括  
的連携協定について

つくばみらい市では、地球温暖化対策と地域の元気づくりを進めるため、地域資源活用推進協会およびSBIスマートエナジー株式会社と包括連携協定を結んでいます。

太陽光発電など再生可能エネルギーの活用に加え、災害に強い地域づくり、地域資源を生かしたにぎわいづくり、環境学習、情報発信など様々な取り組みを計画しています。

小中学校に太陽光発電設備や蓄電池の導入後、現在は、施設で電力を使用するPPAモデルを活用して事業を進めています。なお、蓄電池を設置することから優先的に避難所施設を選定しています。

※PPA Power Purchase Agreement（電力販売契約）  
電事業者と電力需要家（企業や自治体など）が、一定期間にわたり電力を購入する契約のこと。

このほか、2か所を視察しました

【茨城県龍ケ崎市】子育て支援について  
【茨城県牛久市】バイオマス構想の取り組みについて、バイオ

ディーゼル燃料について

## 委員の考え、気づき

環境施策にとどまらず、地域経済や教育、防災など幅広い分野に波及効果をもたらす取り組みでした。

特に、民間企業との柔軟な連携を基盤に、スピード感を持って事業を進める体制は、変化の激しいエネルギー分野において非常に有効です。

公共施設への再エネ導入を起点に、地域内でのエネルギー循環を目指すことは、朝倉市でも応用が出来るかもしれないと考えます。



茨城県つくばみらい市



常任委員会では年に一度、様々な行政課題に取り組む先進地を視察しています。視察内容の一部を紹介します。

## 建設経済常任委員会

【福井県池田町】  
森林資源を活用した観光施設整備（ツリーピクニックアドベンチャー池田等）による地域経済活性化の取り組みについて

池田町は町の面積の約9割を森林が占める中山間地域です。同町では、この広大な森林を「地域の宝」と捉え直し、日本最大級のメガジップラインを備えた「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」を整備しています。この施設は、自然景観を壊さず、地形を活かした体験型観光を推進しています。また、木育をテーマにした「おもちゃハウス こどもと木」など、家族連れが1日中楽しめる施設を周辺に集約し、滞在時間を延ばす工夫がされています。

さらに、それぞれの施設運営による直接雇用だけでなく、町内の飲食店や宿泊施設、農産物直売所との連携を強化し、町全体で経済が循環する仕組みを構築しています。

このほか、2か所を視察しました

【福井県大野市】有害鳥獣分解処理装置ならびに有害鳥獣被害

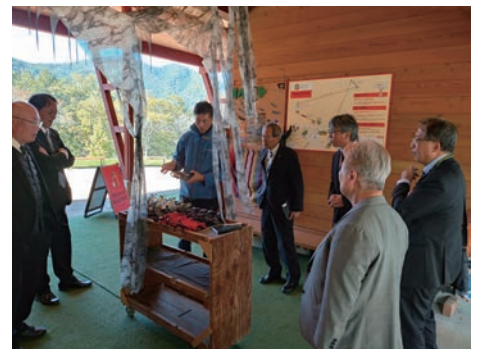
防止の取り組みについて

【福井県小浜市】食のまちづくりについて

### 委員の考え、気づき

一見「何も無い」と思われる山間部を、唯一無二の価値を持つ観光資源へと変貌させた好例でした。特に、民間の手法を柔軟に取り入れ、観光客誘致と地元雇用創出の両方が機能している点が印象的でした。

朝倉市においても、豊かな自然環境を次世代に繋ぐための森林整備と、それを活かした交流人口の拡大、さらには地域経済の活性化に向け、この取り組みを今後の政策提言に活かしたいと思いました。



福井県池田町

## 【朝倉市議会からのお知らせ】



## 議員と語りませんか 議会意見交換会

日時 令和8年2月14日(土)

場所 14時～

フレアス甘木多目的ホール

19時～

杷木地域生涯学習センター

(らくゆう館) 2階 視聴覚室

第一部 全体での議会報告会

第二部 各常任委員会毎の意見交換会

どなたでも参加できますので、  
ご都合のよい会場にお越しください。

お詫びと訂正

令和7年11月1

日号の議会だより  
において

12ページ「一般  
質問」に記載誤り  
がありました。

【正】森林保全・空  
き家対策の  
施策を問う

【誤】本市の快適な  
暮らし対策  
を問う

【正】軟骨伝導イヤ  
ホン

【誤】軟膏電動イヤ  
ホン

15ページ「一  
般質問追跡」に  
記載誤りがあり  
ました。

【正】修学旅行代

【誤】就学旅行代

お詫びして訂正  
いたします。

# あの質問 どげんなった？

**Q** 意見報告会において、外国人のごみ出し方法について、多くの意見が出た。外国人のごみの出し方について、市としての働きかけはしているのか。(令和7年3月定例会)

**A** 令和6年12月に英語版とベトナム語版のごみの出し方を作成しており、令和6年度内に中国語版、インドネシア語版の完成予定。



## こげんになりました

令和7年度より、4か国語（英語・ベトナム語・中国語・インドネシア語）でのごみの出し方が作成され、新規転入者については、転入手続き時に配布されている他、ホームページでも公開されています。



## 議員の1枚

12月24日、久喜宮保育所恒例のお楽しみクリスマス会が行われ、サンタクロースからプレゼントをもらったお礼に年少・年長までのお友だちが、可愛いダンスを披露し、ほっこりした時間を過ごしました。

地区コミュニティ協議会のお世話に感謝いたします。

**表紙の風景**

大平山からの初日の出は、今年も美しく山頂は多くの若者で賑わいました。来場者の皆さんに振る舞った、準備していたぜんざいやカップ麺も瞬く間になくなるほどの盛況となりました。

平成3年の台風被害以降、34年間続く山頂整備とイルミネーションは地域の支えによるものです。深く感謝申し上げます。



## 編集後記

12月議会では、外資系企業によるマンション建設問題など、市民の生活に関わる重要な課題について議論が行われました。1月5日には新庁舎が開庁し、市民サービスの向上への新たな一歩が始まります。今年は丙午の年。変化の時代だからこそ、市民の声を大切にして、信頼される議会運営に努めて参ります。

日頃のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

### 広報委員会

委員長 徳永 秀俊  
副委員長 飯田 早苗  
委員 柴山 恭子  
委員 渡辺 毅  
委員 石井 清治  
委員 日野 泰信

## 次回定例会の予定

開会日	2月25日
一般質問	3月2日～4日
議案質疑	3月4日
常任委員会	3月5日～9日
特別委員会	3月10日～16日
閉会日	3月19日

※2月20日の議会運営委員会で変更になる場合があります。